

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆マイナ免許証、9月1日から更新しやすく 新システム運用開始

・マイナンバーカードと運転免許証を一体化した「マイナ免許証」を巡り、警察庁は9月1日からマイナカードの更新時に運転免許のデータも自動的に反映される新システムの運用を始める。更新手続きの手間が消える。新システムの導入に伴う道路交通法施行規則の改正案についてパブリックコメント(意見公募)を実施、正式に決定した。

◆環境省、26年度予算7100億円要求へ 住宅の脱炭素に90億円

・環境省は2026年度予算の概算要求について、一般会計と特別会計を合わせた総額を約7100億円とする方針。25年度の当初予算と比べて2割増える。住宅の脱炭素を促すため、エネルギー特別会計から新たに90億円を充てる。エネルギー消費量を一定以下に抑えるZEBの普及に向けた事業には125億円計上、25年度当初予算から87億円増やす。

◆雇用調整助成金の不正受給1000億円超 コロナ禍、厚労省集計

・新型コロナウイルス禍を契機に、失業を防ぐ目的で2020年4月～23年3月に特例的に拡充した雇用調整助成金(雇調金)について、企業などの不正受給が、今年6月末時点で4280件、計約1044億円に上ることが27日、厚生労働省の集計で分かった。厚労省が調査、返還を求め不正受給のうち、これまでに延滞金などを含めた約804億円は回収した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆7月の国内建設受注30%減 5カ月ぶりマイナス

・日本建設業連合会が2発表した2025年7月の国内建設受注額は、前年同月比30%減の1兆972億円だった。単月でのマイナスは5カ月ぶり。製造業の大型案件が少なかったほか、前年同月の受注額が過去20年で最高だった反動も影響した。民間からの受注は32%減の8760億円で、そのうち製造業は38%減の2229億円だった。

◆住宅用木材相場が上昇 製材品や集成材、メーカー値上げ浸透

・木造住宅の梁(はり)や柱に使う国産木材の8月の取引価格が上昇した。梁材となる製材品は前月比4%、同じく梁材となる集成材も2%高い。製材会社が生産コストなどの上昇を理由に打ち出していた値上げが浸透した。高止まりしている住宅建設費をさらに押し上げる可能性がある。

◆太陽光パネルのリサイクル義務化、法案修正へ 費用負担を再検討

・政府は使用済み太陽光パネルのリサイクルを義務付ける法案を修正。パネルの製造会社や輸入事業者のリサイクル費用を負担させる案について内閣法制局が他の法律との整合性を問題視していた。費用負担のあり方など代替案を検討。家電などのリサイクル費用は所有者が負担しており、内閣法制局が法案審査で整合性がとれないと指摘。

《 注目商品 》

■フクビ化学工業、スリム形状のソーラーLED屋外照明灯

・屋外家具ブランド「Fandaline(ファンダライン)」に、電源不要のスタイリッシュなソーラーLED屋外照明灯2タイプをラインナップ。配線工事が不要で、人力で持ち運びができ重機を使用せずに施工できる。太陽光によるソーラー照明のため、災害時にも継続して使用が可能。



■エービーシー商会、屋内用大型カスタマイズルーバー

・少量から発注できる屋内用大型カスタマイズルーバー。近年、梁見せ天井の人気が高まり、表し梁のようなイメージで使用できる大型ルーバーのニーズが増加していることを受けて発売。最低発注数量を最小限に抑え、定尺2200mm・5本から製造可能。



■パナソニック、業界最細のサイズ「内窓」の品揃え

・リフォーム用内窓の従来の引違い窓2枚建の品揃えに、開き窓、FIX窓、引き違い窓4枚建、浴室用などのラインアップを追加。住宅のほとんどの窓に内窓が取り付け可能に。開き窓は内側に開くデザインで、テラスドアや勝手ロドアにも対応。

